

平成29年5月17日

## 平成29年度文化庁文化交流使の指名

文化庁では、平成15年度より、芸術家、文化人、研究者等、文化に携わる人々を一定期間諸外国へ派遣する「文化庁文化交流使事業」を実施しています。（別紙2参照）

この度、以下のとおり、平成29年度「文化庁文化交流使」を指名しましたので、お知らせいたします。略歴は別紙を参照ください。

### 平成29年度文化庁文化交流使 ※敬称略，50音順（別紙1，3参照）

- ・おおとも よしひで大友 良英（音楽家）
- ・すずき やすひろ鈴木 康広（メディアアーティスト，武蔵野美術大学准教授，東京大学先端科学技術研究センター客員研究員）
- ・たねだ みちかず種田 道一（金剛流能楽師）
- ・ほんじょう ひでじろう本條 秀慈郎（三味線演奏家）
- ・ますだ増田 セバスチャン（アートディレクター，アーティスト）

#### <担当>文化庁長官官房国際課

課 長 北山 浩士（内線2845）

国際文化交流室室長補佐 木南 秀隆（内線3166）

振興係長 是永 寛志（内線3167）

電話：03-5253-4111（代表）

## 平成29年度文化庁文化交流使

氏名	年齢	性別	プロフィール	活動国・地域(予定)	期間(予定)	主な活動内容(予定)
おおとも よしひで 大友 良英	57	男	音楽家	中南米, 東南アジア, 欧州	約3か月 (平成29年11月～平成30年2月)	即興演奏家としてのキャリアを生かし様々な現地音楽家との共演, 自身のソロ演奏, さらにプロフェッショナル, アマチュアを問わず現地音楽家とのワークショップ等を行う。また, 作曲作品の演奏や自身の活動についての講演も行う。
すずき やすひろ 鈴木 康広	37	男	メディアアーティスト, 武蔵野美術大学准教授, 東京大学先端科学技術研究センター客員研究員	アメリカ, 中国, インドネシア, イスラエル, ブラジル, フランス等	約2か月 (平成30年2月～3月)	日常に潜在するアートの可能性を考え, 言語で捉えきれないものへの感性を呼び覚ますことを目的として, 日常を捉え直す「見立て」による作品紹介とワークショップ等を行う。
たねだ みちかず 種田 道一	63	男	金剛流能楽師	イタリア, スペイン, ハンガリー, フランス, アメリカ	約2か月 (平成30年1月中旬～3月中旬)	能を通じて, 西洋文化と日本の伝統文化を比較することを目的として, 能の舞や茶の湯等のレクチャー, ワークショップ, 発表会, 舞の披露, 講演会等を行う。
ほんじょう ひでじろう 本條 秀慈郎	32	男	三味線演奏家	アメリカ, ドイツ, フィンランド, チェコ, フランス, イギリス, 中国, マレーシア	約4か月 (平成30年3月～7月)	三味線による「現代音楽の演奏」によって, より広く日本の伝統楽器の魅力を伝えることを目指し, 「世界の現代音楽アンサンブルとの共演」を軸に活動する。また, 作曲家に委嘱し, 三味線と様々な楽器との新たなレパートリーを創造し, コンサートやレクチャー等を実施。その他音楽祭やイベントにも参加する。
ますだ せばすちゃん 増田 セバスチャン	46	男	アートディレクター, アーティスト	アメリカ・オランダ・アフリカ・中南米	約6か月 (平成29年10月～平成30年3月)	原宿, Kawaii文化を中心としたポップカルチャーをより深く伝えること, 作品の強化を目的として現地アーティストとの制作, 展示, 講演を行う。また, 今後の活動範囲を広げるためにアカデミーやアート関係者とのネットワーキングを行う。

## 文化庁文化交流使事業（Japan Cultural Envoy）について

### 【目的・趣旨】

文化庁では、芸術家・文化人等を一定期間「文化交流使」に指名し、世界の人々の日本文化への理解の深化につながる活動や、諸外国の芸術家・文化人等とのネットワークの形成・強化につながる活動を展開している。

### 【概要】

文化交流使の活動の概要は以下のとおり。

#### ①概要

芸術家・文化人等を海外へ派遣し、それぞれの専門分野における実演、実技指導、講演、講義、上映、展示、共同制作、情報交換等を行う。

※芸術家・文化人等には、複数の芸術家・文化人等で構成された1組の文化交流使とみなすことがふさわしいと文化庁が判断したものも含まれる。

#### ②指名期間

原則として1か月以上12か月以内（最長1年）

※1か月につき8回以上、文化交流使としての活動を行う。

#### ③文化庁の負担

交通費、現地滞在費（定額の宿泊費と日当）、現地での活動経費（活動期間に応じた定額の謝金）等

### 【活動実績】

平成15年度から27年度までに、伝統音楽や舞台芸術、生活文化やポップカルチャーといった多様な分野で活躍する芸術家・文化人等、延べ122名と26組（団体）の文化交流使が世界79か国で活動を行った。

※実績は、現地滞在者型（平成15年度～平成21年度）及び短期指名型（平成20年度～25年度）を含む。

### 【指名手続】

・文化交流使は、「文化交流使事業委員会」（※）の推薦を経て、文化庁長官によって指名される。

※「文化交流使事業委員会」は、文化交流使事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会であり、関係行政機関、学識経験者等から構成される。

・候補者選定に当たっては、外務省在外公館及び国際交流基金海外事務所の協力を受け、諸外国における芸術家・文化人等のニーズ調査を行っている。

【出身地】神奈川県横浜市

【生年月日】1959年8月1日

【学歴】—

音楽家、プロデューサー。常に同時進行かつインディペンデントに即興演奏やノイズ的な作品からポップスに至るまで多種多様な音楽をつくり続け、その活動範囲は世界中におよぶ。映画音楽家としても数多くの映像作品の音楽を手がけ、その数は80作品を超える。近年は「アンサンブルズ」の名のもとさまざまな人たちとのコラボレーションを軸に展示する音楽作品や特殊形態のコンサートを手がけると同時に、障害のある子どもたちとの音楽ワークショップや一般参加型のプロジェクトにも力をいれ、2011年の東日本大震災を受け「プロジェクト FUKUSHIMA!」を立ち上げるなど、音楽におさまらない活動でも注目される。



撮影：佐藤類

【略歴】

1980年代より即興演奏を軸に音楽活動を開始。

1990 バンド「GROUND-ZERO」結成、国内外で作品のリリースやライブを行う。1998年解散。

1993 田壮壮監督の中国映画「青い嵐」で初めて映画音楽を担当。同作品は東京国際映画祭グランプリ受賞。

2005 インスタレーション作品展「without records」開催（京都 shin-bi ギャラリー）。自身がライブパフォーマンスや録音で実験をかさねてきたノイズ・即興・アンサンブルという概念を、空間を使ってダイナミックに展開した作品。

アジアの音楽家同志の交流を図るプロジェクト「アジアンミーティング・フェスティバル」をスタート 2009年までに3回の自主開催ののち、2014年以降は国際交流基金アジアセンターとともに例年複数回開催。

ドラマ「クライマーズ・ハイ」（NHK）の音楽を担当。

障害者とともに音楽をつくるグループ「音遊びの会」に参加（現在までつづく）。

2008 作品展「ENSEMBLES」開催（山口情報芸術センター）。

中国、韓国、シンガポール、日本の音楽家の交流を図るプロジェクト「Far East Network」をスタート、現在も継続中。

2011 東日本大震災を受け、遠藤ミチロウ・和合亮一とともに「プロジェクト FUKUSHIMA!」を立ち上げる。その後福島での活動は現在までつづく。

2012 「プロジェクト FUKUSHIMA!」の活動で芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞。

2013 「あまちゃん」の音楽他多岐にわたる活動で東京ドラマアウォード特別賞、第55回日本レコード大賞作曲賞他、数多くの賞を受賞。

2014 国際交流基金アジアセンターとともに「アンサンブルズアジア」を立ち上げ、音楽によるアジアの様々な地域の交流をスタートさせる。

2015 札幌国際芸術祭 2017 の芸術監督に就任。

一般の人たちとのワークショップで作り上げる音楽祭アンサンブルズ東京をスタート。

演出家の藤田貴大、写真家の石川直樹、ダンサーの酒井幸菜、福島県の中高校生らとともにミュージカル「Time Line」をスタート、福島に通い続け作品を制作、現在もつづく。

【ウェブ】 <http://otomoyoshihide.com/profile/>

【出身地】静岡県浜松市

【生年月日】1979年

【学歴】東京造形大学デザイン学科

映像インスタレーション作品『遊具の透視法』(2001)がNHKデジタル・スタジアムで年間のグランプリを受賞。アルスエレクトロニカ・フェスティバルをはじめ国内外の多数の展覧会やアートフェスティバルを巡回。『まばたきの葉』(2003), 『空気の人』(2007), 『ファスナーの船』(2010)など, 美術館のみならず公共空間へ展開する創作を続けている。



撮影：中川正子

### 【主な展覧会】

- 2005 EXPO ドーム「愛・地球博 開会式」(愛知)  
「Rising Sun, Melting Moon : Contemporary Art from Japan」(イスラエル美術館, エルサレム)
- 2006 「予感研究所 アート+テクノロジー+エンタテインメント=?! 325人の研究者たちの予感」(日本科学未来館, 東京)
- 2007 「Thermocline of Art New Asian Waves」(ZKM, カールスルーエ)  
第1回企画展 深澤直人ディレクション「Chocolate」(21\_21 DESIGN SIGHT, 東京)
- 2008 「Aerial Being」(IERIMONTI Gallery, ミラノ)  
第3回企画展 三宅一生ディレクション「XXIc.-21世紀人」(21\_21 DESIGN SIGHT, 東京)  
アルハンブラ宮殿 セビリアビエンナーレ 2008 (グラナダ)
- 2009 「TOKYO FIBER '09 SENSEWARE」(21\_21 DESIGN SIGHT, 東京及びトリエンナーレ美術館, ミラノ)  
Digital Public Art Exhibition in Haneda Airport 「空気の港~テクノロジー × 空気を感じる新しい世界~」(羽田空港ターミナル, 東京)
- 2010 瀬戸内国際芸術祭 2010 (香川)
- 2011 第4回モスクワビエンナーレ (ロシア)  
「募金箱『泉』公開記念特別展示」(原美術館, 東京)  
「BORDER-地球、まばたき、りんご、僕」(浜松市美術館, 静岡)
- 2014 「ミッション [宇宙×芸術] -コスモロジーを超えて」(東京都現代美術館, 東京)  
「近所の地球」(水戸芸術館現代美術ギャラリー, 水戸)  
「鈴木康広『見立て』の実験室」(金沢 21世紀美術館, 金沢)
- 2015 「めぐりアート in 静岡」(静岡県立美術館 ロダン館, 静岡)
- 2016 「London Design Biennale 2016」(Somerset House, ロンドン)

【ウェブ】<http://www.mabataki.com/>

たねだ みちかず  
種田 道一（金剛流能楽師）

【出身地】京都府京都市

【生年月日】1954年2月1日

【学歴】立命館大学産業社会学部卒業

能楽金剛流の職分家である種田家の四代目。1993年、京都市芸術新人賞を受賞。1998年、重要無形文化財（総合認定）に指定。1981年より、裏千家学園講師として能の講義を務める。また、小学生を対象にした能楽体験教室など、能の普及にも積極的に取り組んでいる。公益法人能楽協会理事、金剛会副理事長、茶道裏千家（茶名：宗道）種田後援会能主宰。



【略歴】

- 1959 仕舞「猩々」にて初舞台（5歳）
- 1975 「石橋」その後「乱」「望月」「道成寺」「卒都婆小町」等を開曲
- 1993 京都市芸術新人賞受賞
- 1998 重要無形文化財（総合認定）保持者に指定

【海外公演】

- 1984 金剛流第1回海外公演 カナダ・アメリカ公演
- 1987 ワシントン桜祭り公演
- 1988 シドニー・オペラハウス公演
- 1992 ジャパンウィーク 金剛流ポートランド公演
- 1993 ジャパンウィーク イスラエル国文化紹介事業公演
- 2007 文化庁国際芸術交流支援事業金剛流宇高能公演（パリ日本文化会館（開館10周年記念）、ドレスデン国立劇場、RBBベルリン放送会館）
- 2010 国際交流基金海外公演主催事業 スペイン・ポルトガル能楽公演
- 2012 モスクワ「日本の秋フェスティバル」公演

【著書】

「能と茶の湯」（淡交社，2002年）

【ウェブ】<http://www.kongou-net.com/>（※「金剛能楽堂」HP）

【出身地】 栃木県宇都宮市

【生年月日】 1984年11月27日

【学歴】 桐朋学園大学短期大学部卒同専攻科研究生修了  
現代邦楽研究所修了

幼少よりピアノをはじめ15歳より三味線を始める。本條流家元本條秀太郎氏に師事し本條秀慈郎の名を許される。津軽三味線を長谷川裕翔氏に師事。三味線を故杵屋勝芳壽氏に師事。ACC Nakamura Kimpei フェローシップによりニューヨークへ留学。自主リサイタル開催など国内の他、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの各地で演奏してきた。その演奏は演出家の故蜷川幸雄からも”繊細で、時に強く烈しいその演奏は深い感動を呼び起こす”と評された。



NHK 教育「日本の芸能」、TV 朝日「題名のない音楽会」等出演。

ブリタニカ国際年表 2015 に活躍が掲載された。作曲家 坂本龍一、藤倉大とのセッションや、ソリストとして指揮者秋山和慶や東京シティフィルハーモニック、日本フィルハーモニー、航空自衛隊航空中央音楽隊と共演。Avanti!室内アンサンブル、Ensemble NOMAD、クアルテット エクセルシオメンバーやカリ・クリーック、クレア・チェイス、佐藤紀雄、野坂操壽、宮田まゆみと共演。他ジャンルとの融合、試みも多く舞踊家の平山素子、デザイナーの Leeroy New と共演している。現在桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

【略歴】

- 2005 第2回東京邦楽コンクール第1位
- 2009 第1回リサイタル開催（現在まで4回）
- 2010 日本現代音楽協会主催「コンチェルトのタベ」にてコンチェルトデビュー。
- 2013 トーキョーワンダーサイト主催”柳慧プロデュース公演”にて好評を得る。
- 2014 第11回現代音楽演奏コンクール“競楽 XI”第3位
- 2015 第21回長谷記念くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣賞。  
三味線演奏家として初の東京オペラシティ文化財団主催“B→C”公演選出と  
第25回出光音楽賞を受賞。  
第70回文化庁芸術祭賞・新人賞を受賞。  
第12回宇都宮エスペール賞、うつのみや市民賞を受け栃木未来大使に任命される。

【ウェブ】—



- 【出身地】千葉県
- 【生年月日】1970年
- 【学歴】ー

京都造形芸術大学, 横浜美術大学客員教授。演劇・現代美術の世界で活動後, 1995年に"Sensational Kawaii"がコンセプトのショップ「6%DOKIDOKI」を原宿にオープン。2009年より原宿文化を世界に発信するワールドツアー「Harajuku"Kawaii"Experience」を開催。きゃりーぱみゅぱみゅ「PONPONPON」PV美術で世界的に注目され, コンセプトレストラン「KAWAII MONSTER CAFE」のプロデュースを手掛けるなど原宿 Kawaii 文化をコンテキストに活動。2014年に初の個展「Colorful Rebellion -Seventh Nightmare-」をニューヨークで発表。参加型アートプロジェクト「Time After Time Capsule」を2020年までに世界10都市での開催を目指して展開中。



【展覧会】

- 2014 個展「Colorful Rebellion -Seventh Nightmare-」(ニューヨーク, フロリダ, ミラノ)
- 2015 個展「TRUE COLORS」寺田倉庫(東京)
- 2016 パブリックアート「TIME AFTER TIME CAPSULE」(ニューヨーク, ロサンゼルス, ワシントンD.C., パリ, ロンドン, シンガポール)

【キュレーション】

- 2011 展覧会・イベント「Roots of Kawaii」プロデュース(ロサンゼルス)
- 2012 展覧会「増田セバスチャンが見つけた「もうひとつの内藤ルネ」展—Roots of “カワイイ”」プロデュース(パルコミュージアム, 東京)

【アートディレクション】

- 2013 六本木ヒルズ天空のクリスマス2013 大型クリスマスツリー「“Melty go-round” TREE」
- 2014 原宿観光案内所「MOSHI MOSHI BOX」モニュメント制作  
「ドール・カルチャー展 ～リカちゃん、ジェニー、バービー、ブライス、そしてスーパードルフィー “Kawaii” の源流から未来へ～」メインビジュアル制作
- 2015 寺山修司生誕80年記念本「寺山修司のラブレター」  
コンセプトレストラン「KAWAII MONSTER CAFE」(原宿)  
サンリオピューロランドオープン25周年記念パレード「ミラクルギフトパレード」
- 2016 石川県金沢市「かわいいね! 金沢プロジェクト」伝統工芸×Kawaii プロデュース  
青森県三沢市「テラヤマ・ロード」ロゴデザイン, モニュメント作品制作

【受賞歴】

- 2015 「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2015」ニューウェーブアワード受賞

【ウェブ】 <http://m-sebas.com/>